

武蔵野大学 環境プロジェクト



Department of Environmental Science
Statement of Activities 2013

目次



環境プロジェクトとは	1	里山保全	4
アリアケ海岸	2	むさしのビオトープ	5
ECO REPORT WAY 21	2	+ ちつく	5
環境教育	3	むさしの環境情報発信部	6
環境 SP	3	OnePlanetCafeMusashino	6
キャンドルナイト	4	連絡先一覧	7

環境プロジェクトとは



武蔵野大学 環境学部では「環境プロジェクト」という授業がおこなわれています。

この授業は環境学科の2年次より履修が認められている授業選択科目です。

学生は自らの意思に基づき、既存のプロジェクトに加入したり新たに立ち上げたりして各団体さまざまな企画を考え実行しています。そのプロジェクトテーマは、「自然環境」「環境教育」「情報発信」「国際支援」など多岐にわたっています。

また、必要に応じて学外（企業・行政・民間）に協力をお願いをしています。企画実行の過程においては、PDCA サイクル、つまり企画 (Plan) 実行 (Do) 評価 (Check) 改善 (Act) を根幹に活動しています。

各プロジェクトの活動は授業時間だけではなく、授業外でも積極的に行われています。教授方からはアドバイスや軌道修正等の指導はありますが、活動運営はあくまでも学生の自主性に任されています。

環境プロジェクト <http://mu-projects.com/>



アリアケ海岸



活動目的

臨海副都心における水辺環境の改善。
昔は豊かであった東京湾の姿を取り戻し、
生命感にあふれる豊かな海にすること。また
海岸清掃等を行うことで、誰もが気軽に接す
ことができ、気持ちよく感じる海づくりを
することで、地域に還元する。

活動目標

海辺のビオトープをつくる。

活動内容

有明北地区の汐入りと東雲運河で水質調査。
NPO や環境保全団体等の活動に参加。
大学周辺の親水公園でゴミ拾いを適宜実施中。



活動するにあたり、環境プロジェクトの特徴である、産・官・民の協働を行っていき
たいと考えています。

協働することで、東京湾全体を含め臨海副
都心がよりよい空間になっていくことを期
待しています。



ECO REPORT WAY 21



活動目的

企業の発行する環境・CSR 報告書を学生の視
点で評価・分析し、企業へフィードバックを
行う。学生ならではの提案で、環境・CSR 報
告書の充実に貢献する。

活動目標

企業との意見交換等により自らの成長を促す。
働きたい会社像等将来を具体的に考えられる
ようになる。

活動内容

CSR 報告書評価の練習や企業訪問における
マナー講習を経て企業訪問を行う。



ERW21 ではリクルート視点で作成した 21
の指標を元に企業が発行している環境・
CSR 報告書の評価分析を行い、その結果を
企業様へフィードバックさせて頂いており
ます。ご興味がありましたら是非 HP をご
覧ください。

HP: <http://www.ecoreport.jp/>



環境教育



活動目的

持続可能な社会の構築のため、次世代に向けた環境教育によって社会貢献を実践していく。

活動目標

自然体験を通じたイベントを企画し、そこで子供たちが自然の大切さに気づき、環境問題について自発的に学び行動できるよう導く。

活動内容

前半は外部の環境教育イベントに参加する。そしてそこで得た知識や経験を活かし後半は自らイベントを企画し、周辺の小学校や児童館の協力のもと参加者を集い、開催する。



次世代を担う子供たちに自然の大切さ、楽しさ、そして素晴らしさを伝えていきます。大学生だからこそできる、子供たちと同じ目線で、自然を感じます。アドバイスやご提携のお話などいただけましたら幸いです。



環境 SP



活動目的

都市における生態系の保全

活動目標

都心だからこそできる活動することにより、生物にとってよりよい環境をつくり、生態系の保全につなげる。

活動内容

生態系、絶滅危惧種等に関する勉強
名古屋 東谷山での保護活動および定期調査への参加
保護活動団体への参加(計画)
ミツバチ飼育(計画)
公園等のフィールド探し(計画)



首都圏における森林の減少とともに、都市で生きている野生生物は数を減らしつつあります。街のゴミ拾いや植林活動、生物保護ボランティアへの参加など人と生物が共生できる環境づくりへのご協力をお願いします。



キャンドルナイト



活動目的

生活において、排出される廃油を資源循環させることで循環型社会の構築を図り、地域連携の活動を行い、環境問題への意識の向上を促す。

活動目標

廃油を使ったイベント、出展と活動の外部発信を行うことで、環境意識を持ってもらう。

活動内容

BDF 精製活動を行い、資源循環を図る。
江東区の環境フェアと学祭に廃油キャンドル作成体験を出展し身近なリサイクルを広める。
イベントを企画、開催し環境問題やスローライフについて知ってもらう。



自分たちが出した廃油から自分たちの手で、または見える形でリサイクルすることにより、環境に対する考え方やリサイクルは難しいという意識を変えるきっかけができる様な活動を目指しています。



里山保全



活動目的

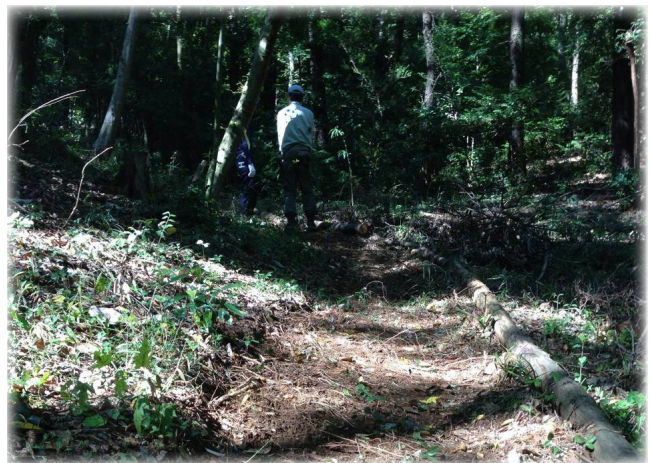
人が手を加えることで自然が守られる里山を自分たちが手を加えることによって里山の保全に貢献することを目的とする。

活動目標

八王子の戸吹を活動拠点とし NPO 法人の戸吹北森を守る会の活動に参加し、そこで自分たちが行いたい活動を企画、提案しそれを実行していく。

活動内容

雑木林の管理。堰の管理から池の作成を企画。
イベントへの参加。戸吹やその他の場所で生態系のフィールドマップの作成。



興味をもたれた方は NPO 法人緑サポート八王子の HP に戸吹北森を守る会の HP へのリンクが御座いますので御覧になってみてください。外部の企業様や近隣の住民の方に向けたイベントも御座いますので奮ってご参加ください。



むさしのビオトープ

活動目的

ビオトープの生態系を調査・管理することで自然環境への意識を高め共生を目指す。
ビオトープを通して、生徒や地域の人に関心を持ってもらい、コミュニケーションをとる

活動目標

ビオトープ管理のノウハウや生態系への知識を得るために、勉強会を実施し、学習する。
ビオトープの水質調査・植生管理をし、結果を報告。小学校ビオトープの管理を通してスキルアップを目指す。

活動内容

定点観測 水質調査 小学校ビオトープ



日々の活動は facebook で「むさしのビオトープ」で検索していただくと様子が投稿されています。使わなくなったビオトープや管理に困っている等という方がいらっしゃいましたら、お気軽にご連絡ください。



+ ちっく



活動目的

身近であるレジ袋をリサイクルし、まずは減らすことよりも、自分たちがどれだけの資源をゴミにしているか、関心を持ってもらう。そしてゴミの削減につなげる。

活動目標

レジ袋を 12～13kg 回収し、クリアファイルにリサイクルする。
イベントを企画し、その他のイベントでも配布する。

活動内容

大学内で出たゴミから、レジ袋を分別と、レジ袋回収ボックスを設置する。
回収したレジ袋をリサイクルする。



大学内でレジ袋を 14 kg回収し、クリアファイルを 1,000 枚作ることができました。またレジ袋を単純焼却ではなく再生原料化すると、約 90%CO₂削減できます。このことから身近な場所で小さなことでも、環境に貢献することができます。



むさしの環境情報発信部



活動目的

環境活動をメイン事業とする企業を
訪問・調査し生の声を同世代に発信することで
環境系企業の認知を向上・就職活動における
企業研究のサポートに繋げる

活動目標

大学生をターゲットとし、
他の企業やメディアからの介入のない
学生目線での率直かつ客観的な
意見の発信を目指す

活動内容

アンケートの結果を元に企業を選定。
経営者への直接取材・メール取材を行い、
ブログ・動画・イベント開催で情報発信する



詳細な活動内容は

<http://ameblo.jp/meid-musashino/>
でご覧いただけます。

質問や感想等なにかございましたら
m.e.i.d.musashino@gmail.com

までご連絡くださいませ。

ご自身の環境活動を大学生に広めてほしいと
いう企業様からの連絡もお待ちしております！



OnePlanetCafeMusashino



活動目的

アフリカの貧困問題と環境問題を解決する
こと。多くの人にこの問題について知って
もらい、考えるきっかけの場を自分たちで
作り出す。両国間で支え合うという精神を
大切にする

活動目標

環境問題、貧困問題を同時に解決することの
できる紙「バナナペーパー」を広めること

活動内容

外部イベント出展やバナナペーパーを使用
したイベントを自ら企画し、運営する
大学の教授、学生の名刺をバナナペーパー
に切り替える



バナナペーパーは先進国と発展途上国、
お互いを支え合うことができる素晴らしい
紙です。これを多くの人たちに知ってもら
い、日本で使ってもらえるようにしたいと
メンバー一同願っています。私たちは両国
の架け橋をする存在を目指して活動して
まいります。

連絡先一覧

アリアケ海岸

3年 水原 健 s1135094@stu.musashino-u.ac.jp

2年 飯塚 諒 s1235009@stu.musashino-u.ac.jp

アリアケ海岸ブログ <http://ariakekaigan.jugem.jp/>

ECO REPORT WAY 21

HP: <http://www.ecoreport.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/EcoReportWay21>

2年 須見春香 s1235044@stu.musashino-u.ac.jp

環境教育

3年 加登智行 lo-te.istot-pst.333@ezweb.ne.jp 080-6677-0329)

2年 両田裕哉 alli.star.zion.88@gmail.com 090-1269-1484)

環境教育プロジェクトホームページ (<http://ecokyoiku.jimdo.com/>)

環境 SP

2年 藤井璃乃 kannkyousp@gmail.com

キャンドルナイト

3年 高田 悠生 s1135023@stu.musashino-u.ac.jp

里山保全

2年 川田 将也 s1235030@stu.musashino-u.ac.jp

むさしのビオトープ

2年 雨宮正和 S1235028@stu.musashino-u.ac.jp

+ ちつく

3年 山上真未 s1135090@stu.musashino-u.ac.jp

むさしの環境情報発信部

2年 亀山瑞希 m.e.i.d.musashino@gmail.com

OnePlanetCafeMusashino

Opcmushashino_u@yahoo.co.jp

(OnePlanetCafeMusashino 専用メールアドレス)

3年 東美奈子 s1135079@stu.musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 <http://www.musashino-u.ac.jp/>

環境プロジェクト <http://mu-projects.com/>

編集者

藤井璃乃

Special thanks

後藤光玖、山田春香、増本愛理、
中太葉月、栗山夏実、大地茜澄

発行：2013 年 12 月